

平成20年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告

ブランド確立支援事業(1年目)案件:2008年5~6月分

実施団体名/今月の事業実施状況/担当者のコメント

弘前商工会議所(「津軽打刃物」ブランド展開プロジェクト)

<今月の事業実施状況>

平成20年6月17日(火)18:00~19:30

GARDEX事務局渡邊氏から概要説明、事務局村谷から出展概要説明があり最適の展示会と考え出展することとした。

平成20年6月24日(火)18:00~20:00

GARDEX出展申し込みを発送した旨事務局より報告。
今井産業さんでの展示会に関しては、三國茂森、保村さんが出店できないようなので日程を改めて調整することとした。

今回の展示会のコンセプトは、鍛冶職人の仕事、プロジェクト活動内容を知ってもらうこととした。

プロモーションビデオ、TV取材の展示会場での放映や、パネル説明、砥ぎ実演、試作品紹介を実施することとした。



平成20年6月3日(火)18:00~20:00

平成20年度採択時の審査員コメントに関して検討。
弘前感交劇場のプロモーションの中で展開をしていくこととした。
例えば、弘南電車の中での展開等。(鉄の車内での表現等)

- ・春夏秋冬の視点で考える。
- ・野菜のすりおろしがそのまま器を兼ねたもの
- ・鍛造ストーブ(付随するスコップ、鉋、斧、デレキ、十能等周辺の鉄製道具)
- ・火で楽しめるコンセプト
- ・中華鍋(北京鍋)ゴシゴシと気軽に洗える丈夫な使いでのあるタイプ
- ・石鍋風の鉄製鍋
- ・ステーキ皿

昨年度の試作品の改良。

平成 20 年 6 月 10 日(火) 18:00～19:30

展示会場として、(株)今井産業虹いろの杜棟ギャラリーを活用するために、現地で打合せを実施。

今井社長の下記のコンセプトと当事業のコラボレーションを検討することとした。

住まいは、「暮らしのコーディネート、人とのコミュニケーションのステージ」だといえますが、その住まいのあり方も時代の進展と共に大きく様変わりしてまいりました。そんな状況をふまえて今井産業では、2005 年、より多くのお客様のご要望を実現するために本社屋を新設。市民の皆様が集い、語り、憩い、学べる施設として、そして、私たち今井産業が提唱する「木造住宅の素晴らしさ、快適さ、無限の可能性」を表現するメディアとして、住まいと暮らしの情報発信・提案館『虹いろの杜』をオープンいたしました。

<担当者のコメント>

鹿沼商工会議所(かぬまグループ高度微細加工技術ブランド化プロジェクト)

<今月の事業実施状況>

JAPAN ブランド推進委員会会議の日程調整を行い、7 月 22 日(火)開催に決定した。

<担当者のコメント>

昭和村商工会(こんにやくヘルシーダイエットバーガー開発プロジェクト ～こんにやく王国・昭和村発！アメリカ文化の象徴であるハンバーガー市場への挑戦～)

<今月の事業実施状況>

事業推進小委員会開催 6月19日(木)

事務局よりジャパンブランド事業について組織構成の説明の後、小委員会の委員長副委員長について諮ったところ、委員長に高橋幸一郎、副委員長に真下亀作両氏に決定された。

その後、事業内容について提案書を中心に説明し、今後の事業について協力をお願いした。



<担当者のコメント>

みなかみ町商工会(みなかみ STYLE 北欧デザイン 『みなかみ meets スカンジナビア』)

<今月の事業実施状況>

昨年度実施したブランド確立支援事業(0年度)における、委員及び専門家の指導を引き続き仰ぎ、今後の日程について、打合わせ会議を行った。本年度は1年目となり、試作品開発と販促ツールの開発を含めたことが中心なることを確認した。プロジェクト委員の選定、専門デザイナーと専門家の招聘をだれにするか、なども確認した。

<担当者のコメント>

単年度事業の、限られた日にちの中で行っていくには、しっかりとした事業計画と専門家の指導がないと大変だと感じた。昨年行った事業とは少し違い、机上での委員会は減少すると思うが、現地視察、専門家、デザイナーとの話し合いが頻繁に行われ、試作品を早く作成することが必要かと思う。課題としては、海外に向けてどのような商品がいいのか早く決定したい。

新津商工会議所(花のまち・地域ブランド創出事業)

<今月の事業実施状況>

9月11日～14日に開催される「ロシア・ハバロフスク国際見本市」に出店予定(詳細はこれから検討)

<担当者のコメント>

長野商工会議所(「長野発 ナチュラルピュアライフブランド確立プロジェクト」)

<今月の事業実施状況>

16名のメンバーから構成するブランド推進委員会を正式的に立ち上げることに決定、ファッションに偏らないライフスタイル型の商品企画をする方向で、意見が一致。

また、国内外ファッション・インテリア関連の情報収集を行った。この度の一番の課題とされる「ニューシルク」の製作に関しては、9月の初回展示会(国内:東京インターナショナルギフトショー、海外:CLASS)に向け試作及びデザイン考案が開始された。

<担当者のコメント>

「ニューシルク」の開発に関しては、未だ先駆者がいないため、相当の時間と経費が費やされることが想定される。

故に、地元信州大学やシルクの専門家と共に地道な研究を重ねることが必要である。9月までには、一定の成果のある製品開発を行う。

静岡商工会議所(ヨーロッパ市場で売れる静岡茶づくり)

<今月の事業実施状況>

6月18日(水)静岡市産学交流センターとの打合せ会を開催した。

・専門家への業務委託について(静岡茶文化の振興、映像プロモーションツールの制作)

6月27日(金)第1回「静岡茶ブランド推進委員会」を開催した。

・委員長に森宣樹委員を全会一致で選出した。

※森宣樹委員長:(株)マルモ森商店 品質管理責任者

・JAPANブランド育成支援事業について、委員ならびにコーディネーター、事務局から説明し、平成19年度戦略策定事業の活動報告並びに平成20年度事業計画(案)について提案、了承を得られた。

5月下旬～ 静岡茶の映像プロモーションツールの制作を開始した。



<今後のスケジュール>

・10月下旬に「EUプロモーション活動」(ドイツ、スイス、フランス)を実施する。

・9月までにテストマーケティング用の試作茶の商品開発や、プロモーションツールの制作を進めるとともに、現地の受け入れ先企業との連絡調整をしていく。

堺商工会議所(堺の伝統産業の世界ブランド化)

<今月の事業実施状況>

5月:堺の伝統産業の世界ブランド化プロジェクト推進委員会委員の選定を行った。

平成19年度にJAPANブランド育成支援事業 戦略策定事業として実施した「堺の伝統産業の世界ブランド化プロジェクト準備委員会」において、海外におけるマーケティング調査を行った結果をもとに、「打刃物をニューヨーク若しくはモスクワにて販売することが提言された。

この提言を受けて、刃物業者、特に打刃物を取り扱う事業所で、堺ブランド「堺技衆」認証企業である4社の代表者を委員として参画させることになった。

6月:堺の伝統産業の世界ブランド化プロジェクト推進委員会委員の委嘱を行った。第1回会議を7月18日(金)開催することになった。

<担当者のコメント>

堺の伝統産業の代表として、打刃物が選ばれたが、初めての海外展開ということ、また経費も相当のもが見込まれることから、本年度に十分な検討を行い、今後の事業展開を見極めたい。

東広島商工会議所(西条酒JAPANブランド確立事業)

<今月の事業実施状況>

6月19日 西条酒ブランド育成委員会(第1回)で、ブランド名称を「Saijo sake」に、スローガンを「Taste Japan.Saijo Sake 日本を、味わおう。」に、ロゴは枡をイメージしたデザインに決定した。

<担当者のコメント>

ブランド名称の使用基準について、「西条産地呼称清酒認証基準」に適合した酒だけを対象とした場合、普通酒はどう取り扱うかが課題となる。また、「西条産地呼称清酒認証基準」そのものも、従来どおりでよいかどうかを検討する必要がある。

人吉商工会議所(球磨焼酎を世界ブランドに)

<今月の事業実施状況>

事業の実施はありません。

<担当者のコメント>